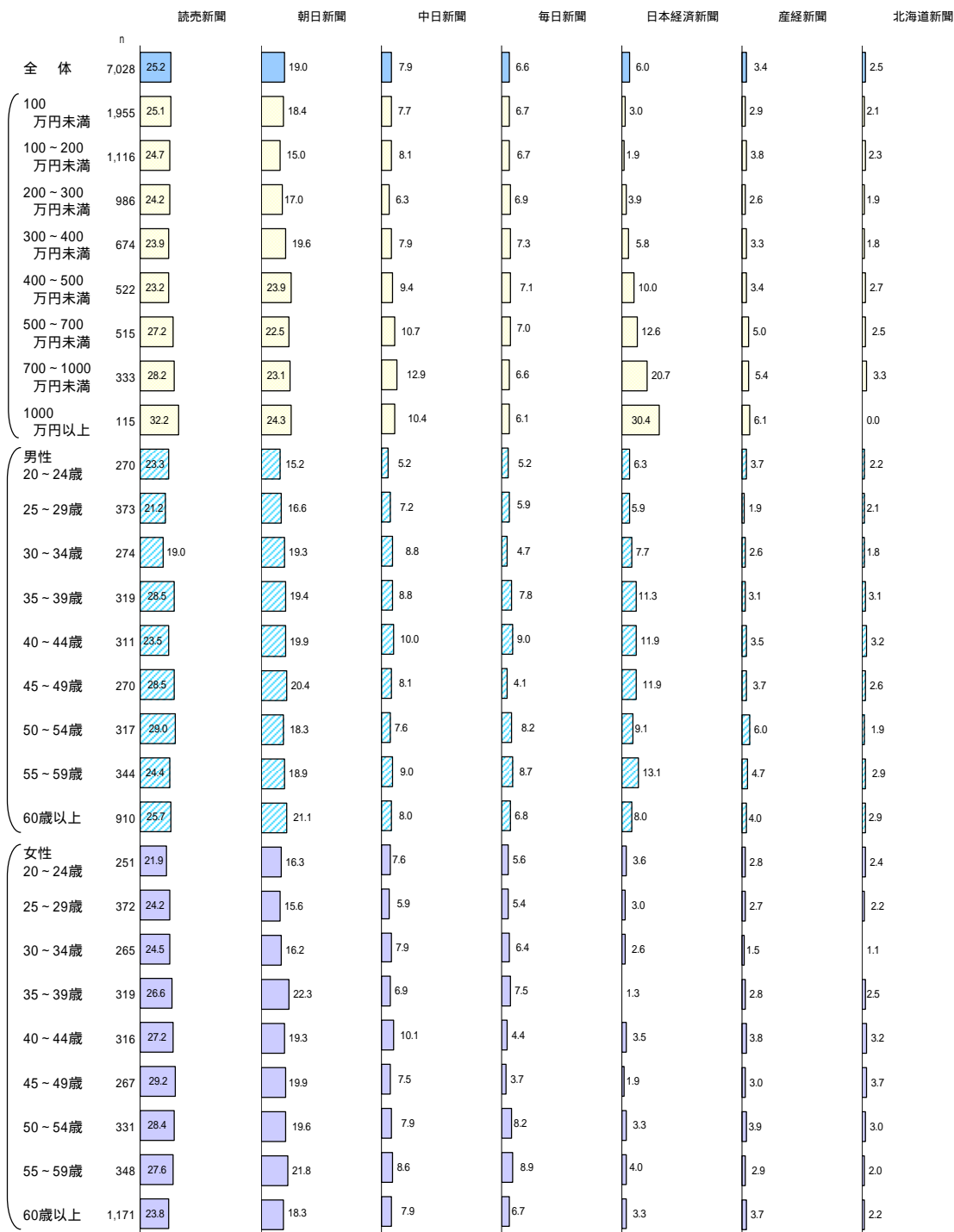
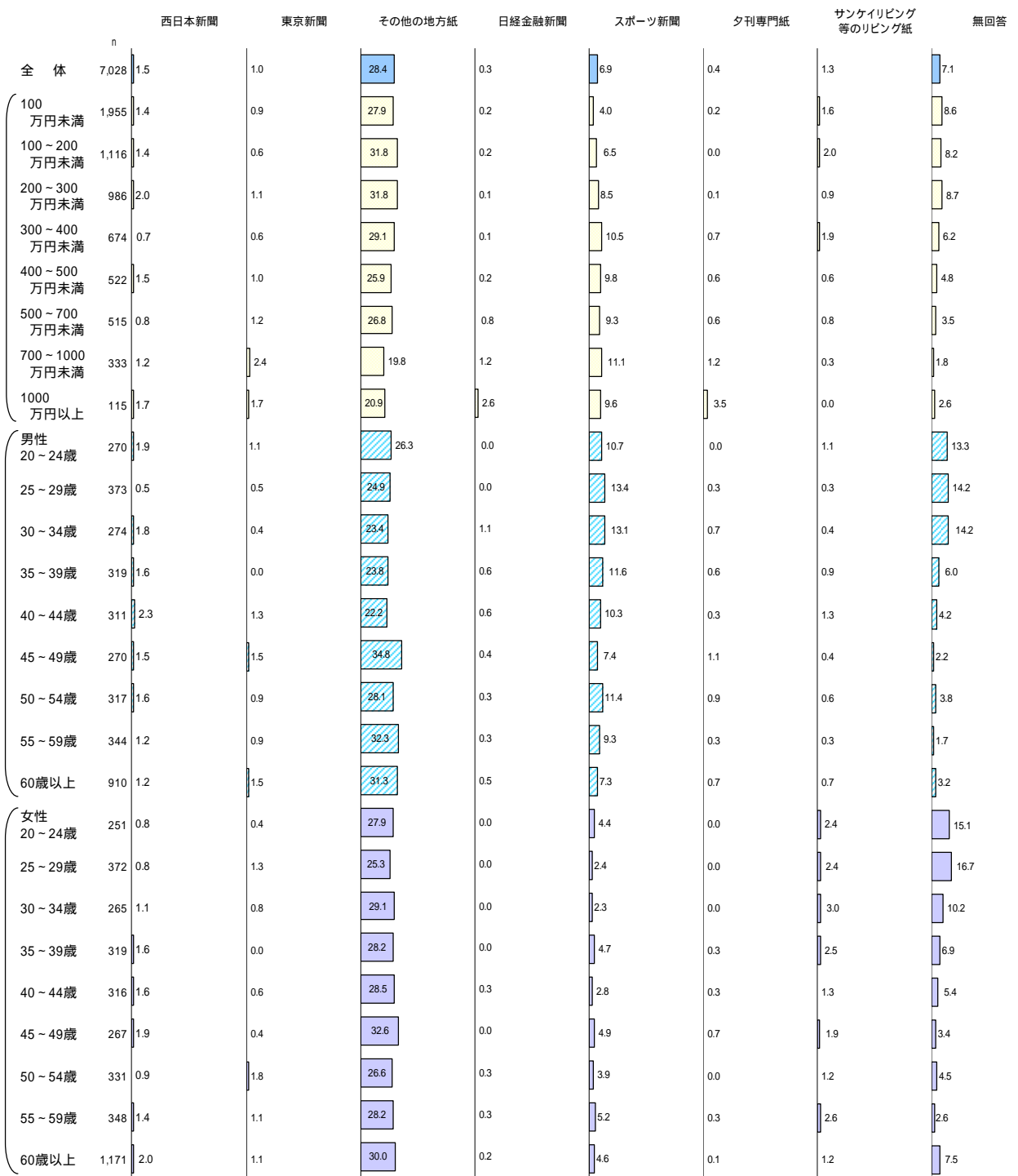


(1) 購読新聞(複数回答)(F5)

現在読んでいる新聞は「読売新聞」(25.2%)が最も高く、次いで「朝日新聞」(19.0%)である。
 収入が多いほど「日本経済新聞」の購読率が高い。

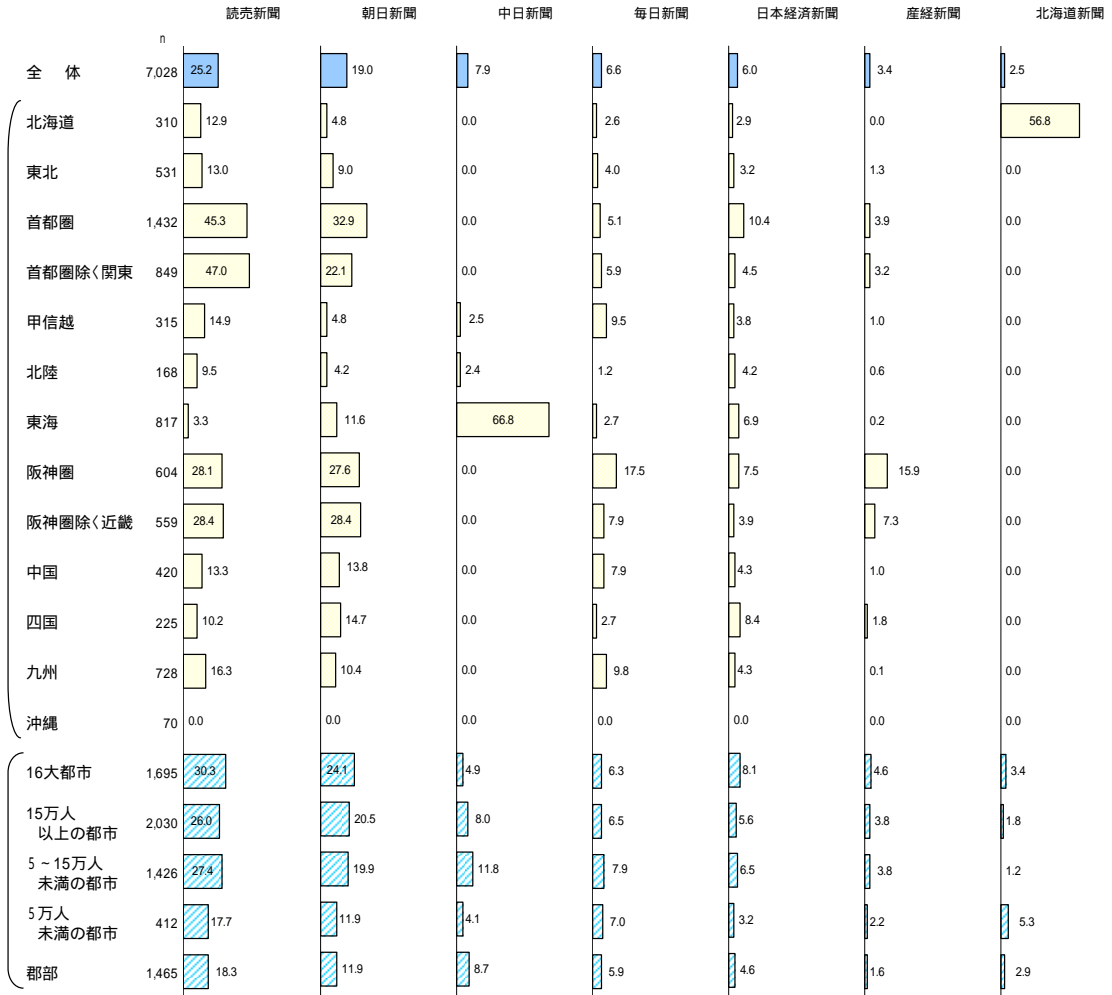
図表 10-1 購読新聞(複数回答)(F5)/年収、性・年代別

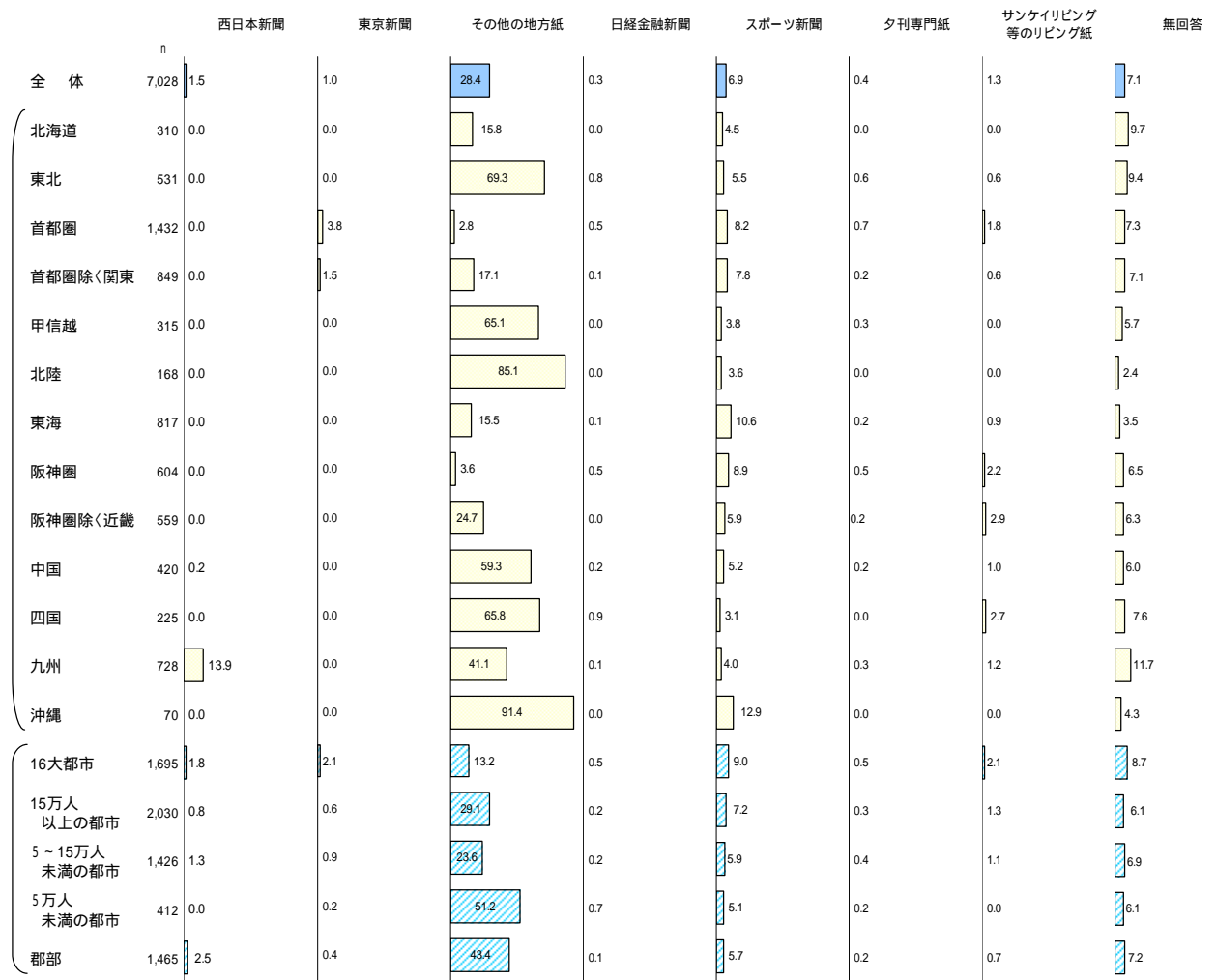




地域別では、首都圏、首都圏除く関東、阪神圏、阪神圏除く近畿は「読売新聞」と「朝日新聞」の購読率が高いが、北海道は「北海道新聞」（56.8%）、東海の「中日新聞」（66.8%）が目立って高い。また、それ以外の地域では「その他の地方紙」の購読率が高い。

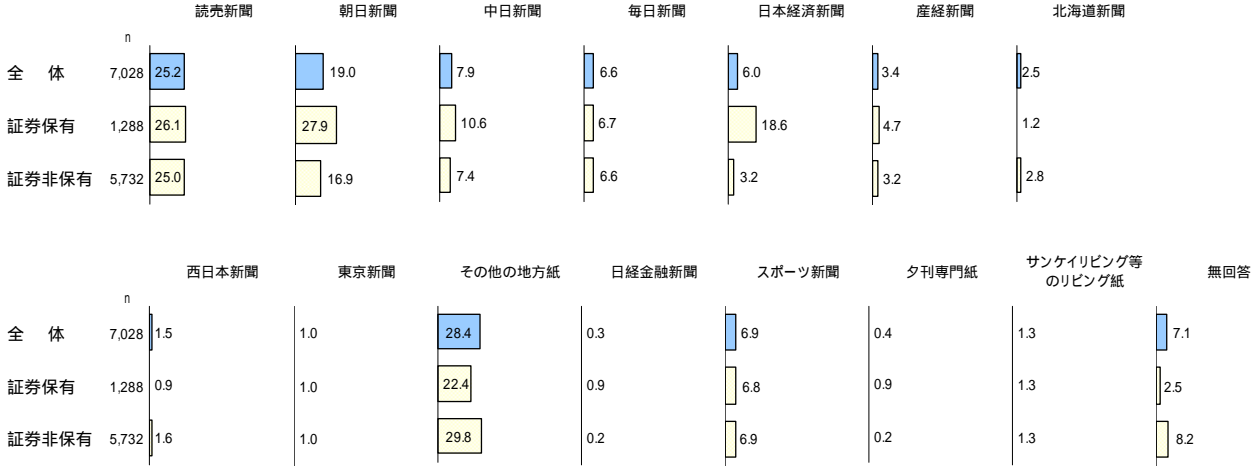
図表 10-2 購読新聞（複数回答）（F5）/地域・都市規模別





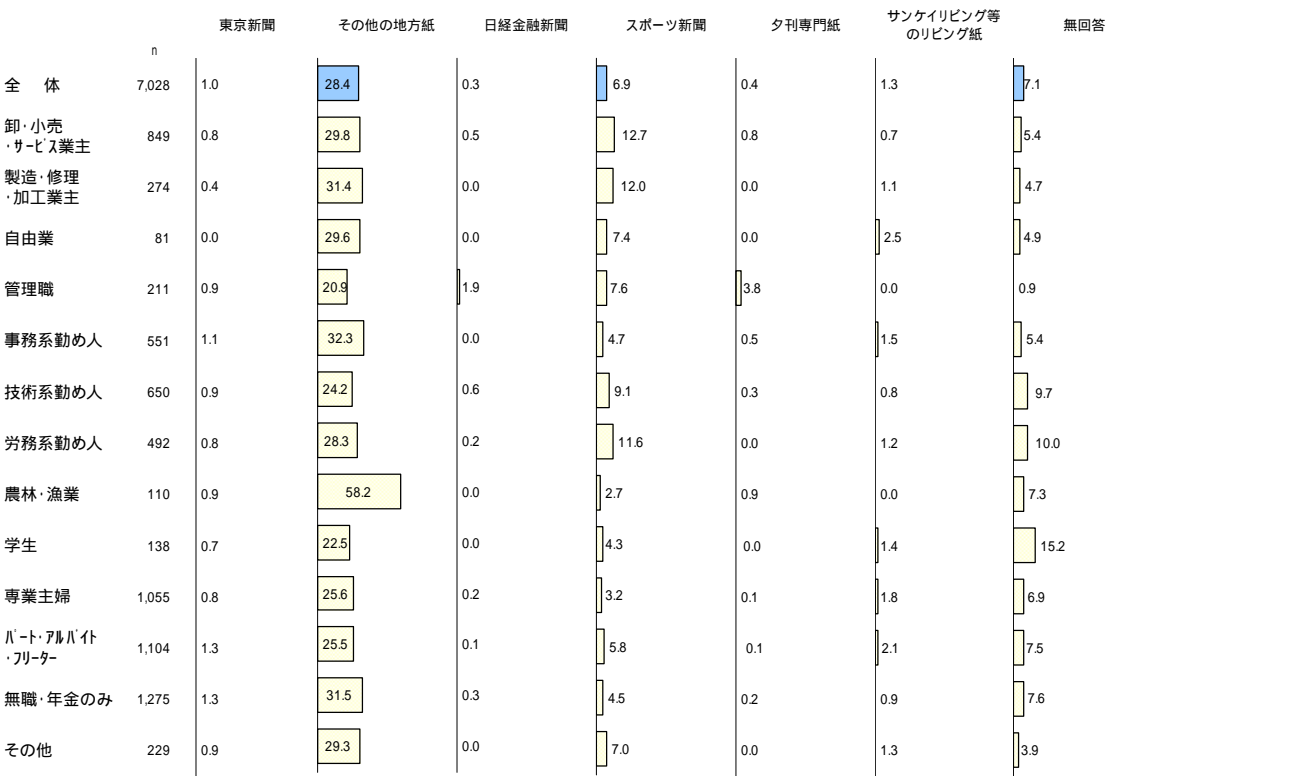
証券の保有状況別で見ると、保有者は非保有者に比べて「朝日新聞」(27.9%)、「中日新聞」(10.6%)、「日本経済新聞」(18.6%)の購読率が高い。

図表 10-3 購読新聞(複数回答)(F5) / 証券の保有状況別(問2)



職業別でみると、管理職は「日本経済新聞」の購読率が32.7%と高い。

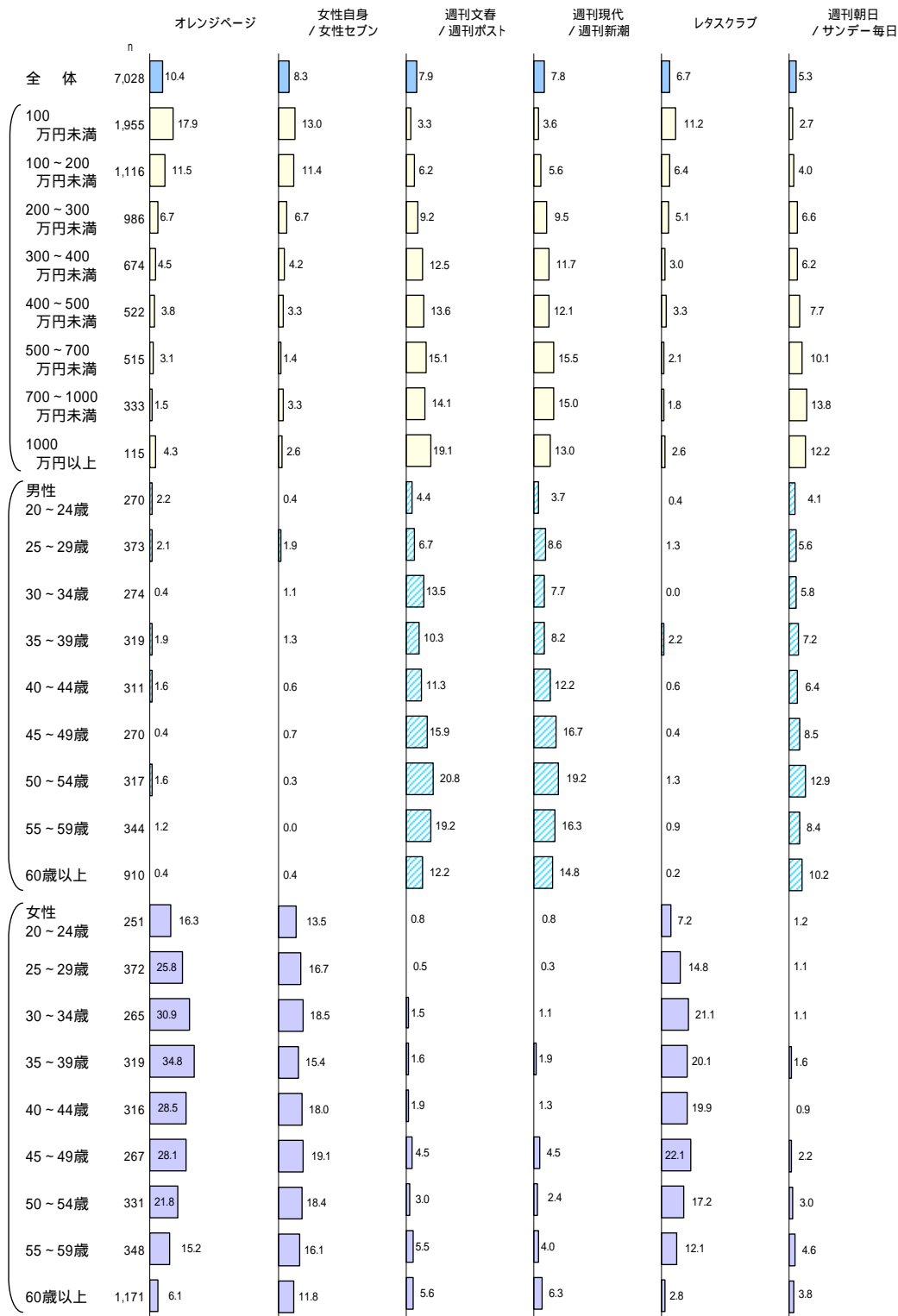
図表 10-4 購読新聞（複数回答）（F5）／職業別（F3）

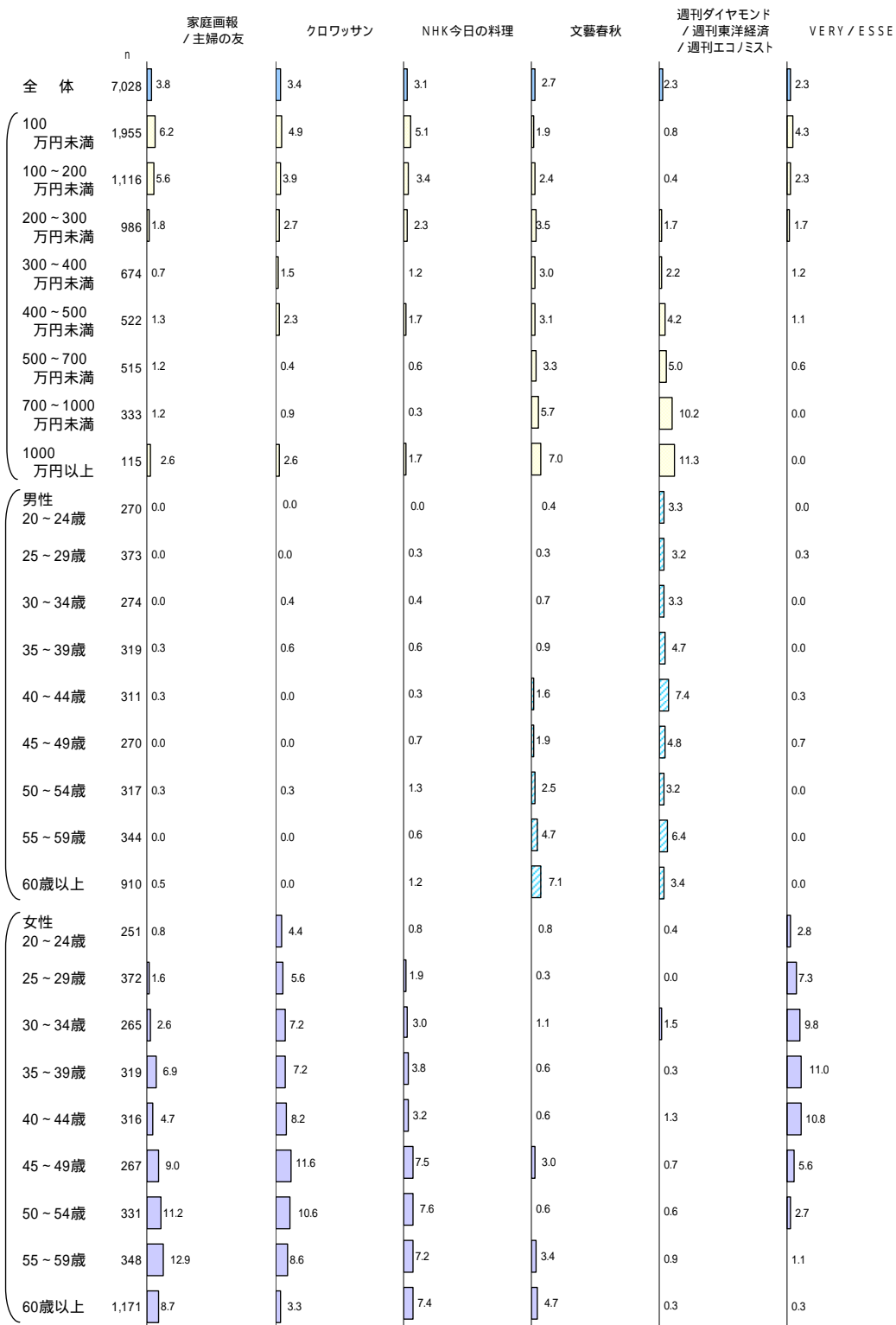


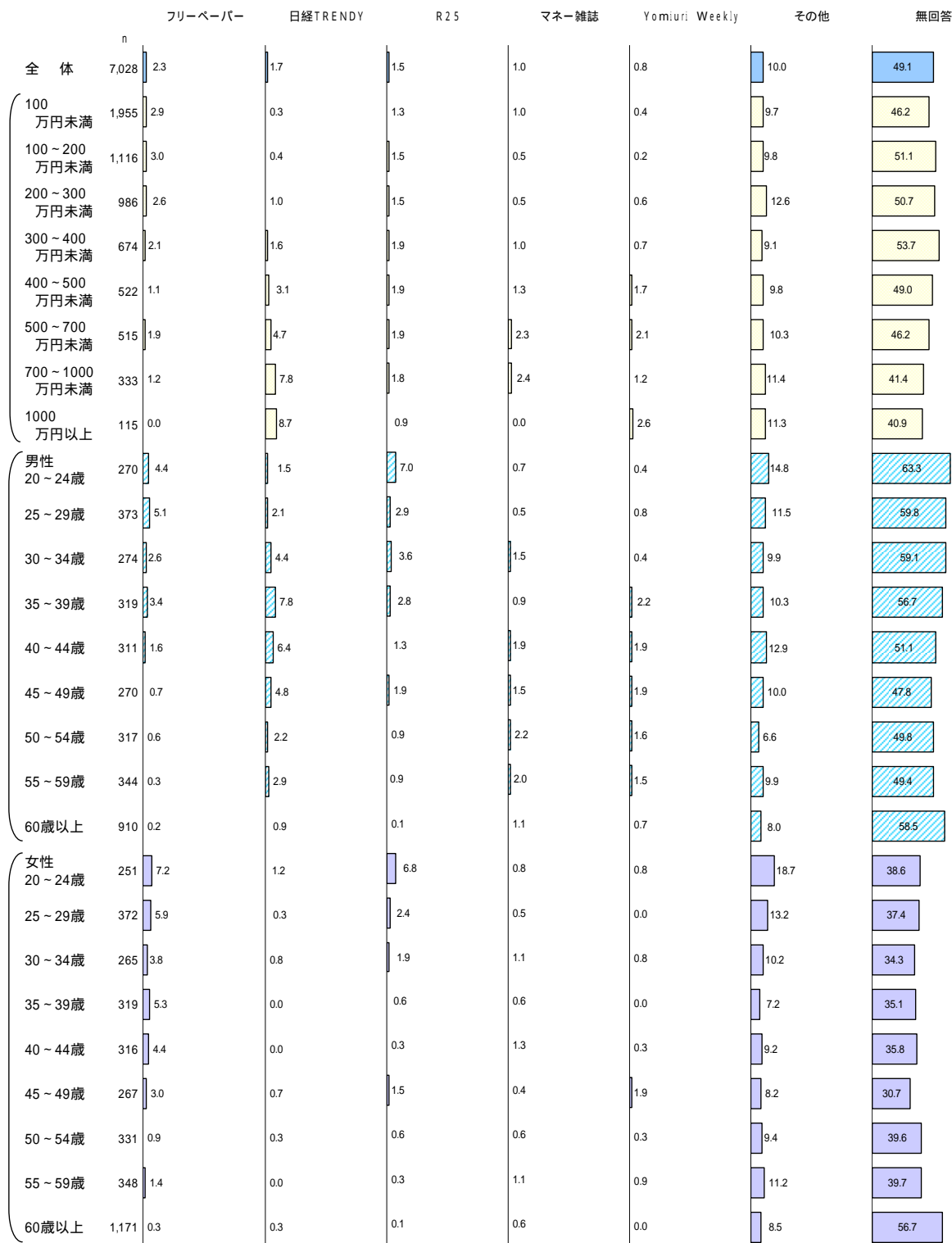
(2) 購読雑誌 (複数回答) (F 6)

よく読む週刊誌、月刊誌は、「オレンジページ」が10.4%で最も高く、次いで「女性自身/女性セブン」(8.3%)、「週刊文春/週刊ポスト」(7.9%)、「週刊現代/週刊新潮」(7.8%)などと続く。男性は「週刊文春/週刊ポスト」、「週刊現代/週刊新潮」の購読率が高く、女性は「オレンジページ」、「女性自身/女性セブン」、「レタスクラブ」が高い。

図表 10-5 購読雑誌 (複数回答) (F 6) / 年収、性・年代別

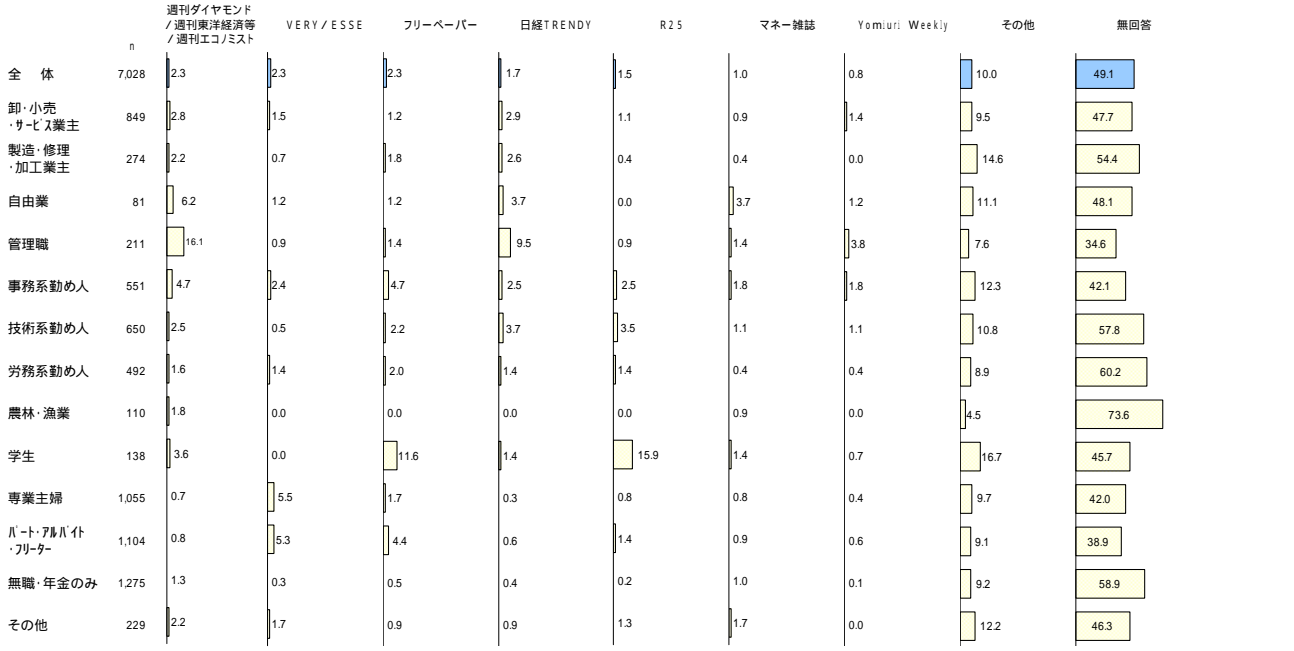
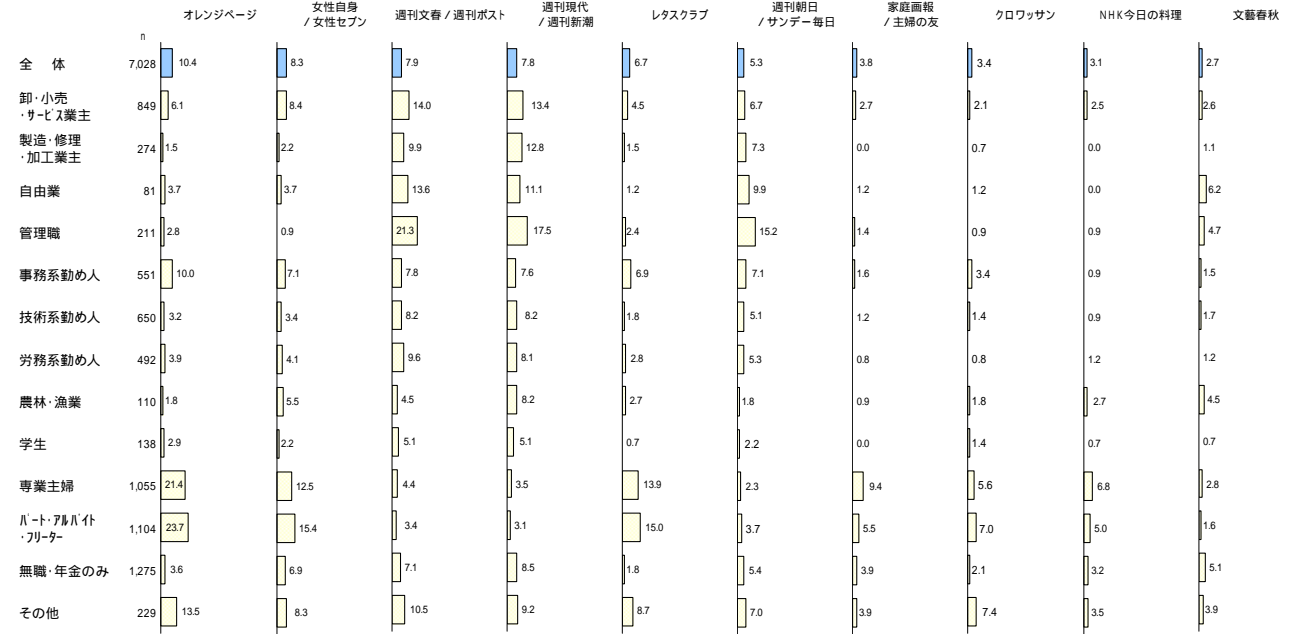






職業別でみると、管理職は「週刊文春／週刊ポスト」、「週刊現代／週刊新潮」、「週刊朝日／サンデー毎日」、「週刊ダイヤモンド／週刊東洋経済」、「日経TRENDY」の購読率が高い点が目立つ。

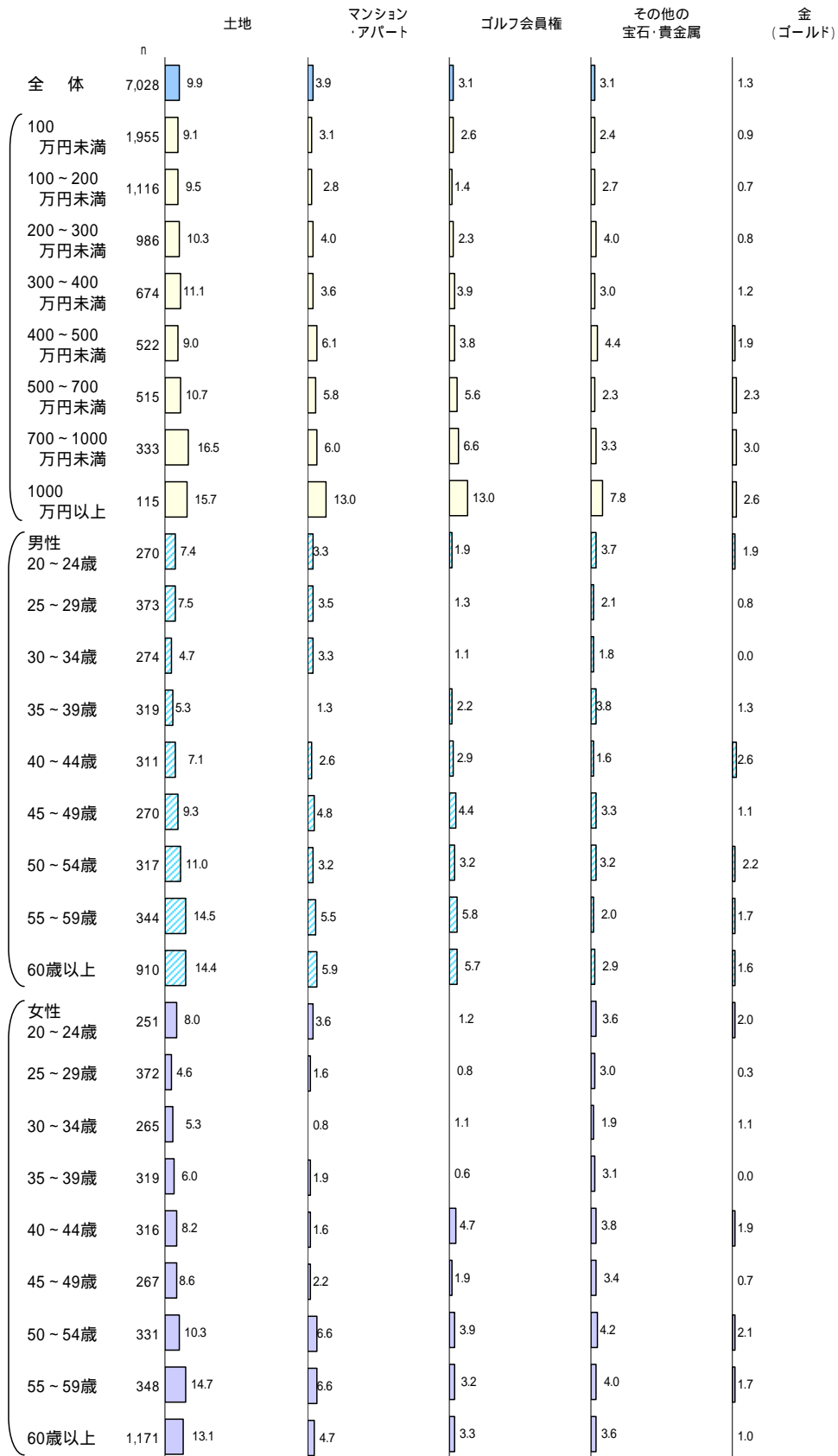
図表 10-6 購読雑誌（複数回答）（F6）／職業別（F3）



(3) 預貯金や証券投資以外の投資（保有）状況（複数回答）（F13）

預貯金や証券投資以外の投資（保有）についてみると、「いずれも持っていない」が80.2%と大部分を占める。保有しているものでは、「土地」が9.9%で最も高い。

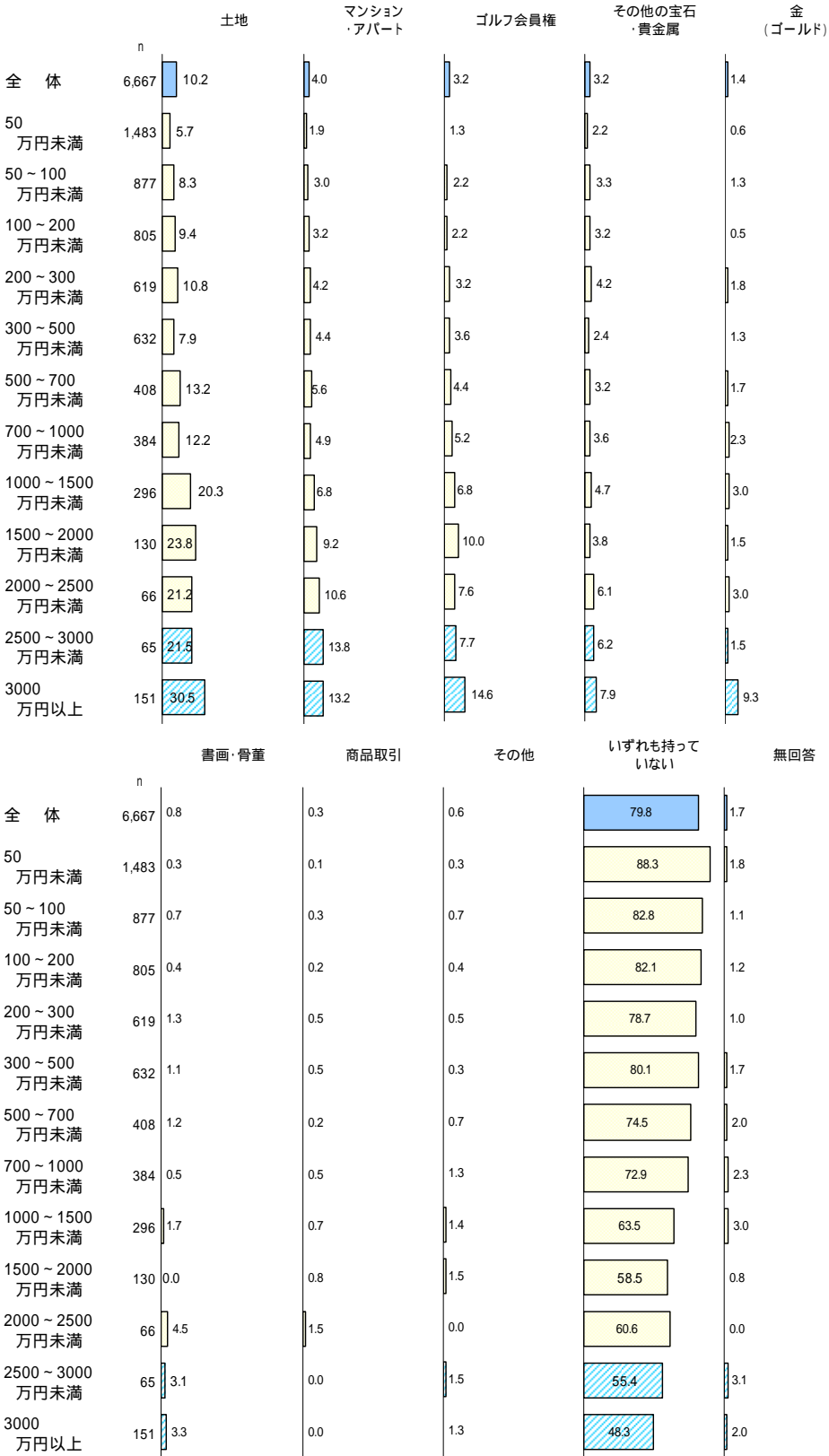
図表 10-7 預貯金や証券投資以外の投資（保有）状況（複数回答）（F13）／年収、性・年代別



	n	書画・骨董	商品取引	その他	いずれも 持っていない	無回答
全体	7,028	0.8	0.3	0.6	80.2	1.8
100万円未満	1,955	0.3	0.2	0.5	82.9	1.4
100～200万円未満	1,116	0.7	0.2	0.7	83.2	1.4
200～300万円未満	986	0.7	0.6	0.9	79.3	1.9
300～400万円未満	674	0.4	0.3	0.4	79.1	1.9
400～500万円未満	522	1.3	0.0	0.8	78.0	1.0
500～700万円未満	515	2.1	0.6	0.6	77.1	0.8
700～1000万円未満	333	0.9	0.6	0.0	70.0	3.0
1000万円以上	115	3.5	0.0	0.0	59.1	2.6
男性						
20～24歳	270	0.0	0.4	1.1	83.0	2.2
25～29歳	373	0.8	0.3	0.5	85.0	1.9
30～34歳	274	0.7	0.4	0.0	88.0	1.8
35～39歳	319	0.3	0.3	0.3	86.5	2.2
40～44歳	311	1.9	0.6	0.0	83.6	1.6
45～49歳	270	1.9	0.0	0.4	80.7	1.1
50～54歳	317	0.3	0.3	0.6	79.8	1.9
55～59歳	344	1.5	0.3	0.9	74.4	1.2
60歳以上	910	1.5	0.8	0.9	71.8	2.2
女性						
20～24歳	251	0.4	0.0	1.6	80.9	4.8
25～29歳	372	0.0	0.0	0.5	89.5	1.6
30～34歳	265	1.1	0.4	0.0	89.4	0.4
35～39歳	319	0.0	0.3	0.3	88.7	0.6
40～44歳	316	0.0	0.3	0.0	79.7	2.2
45～49歳	267	1.1	0.0	0.0	82.4	1.1
50～54歳	331	0.3	0.6	0.6	76.4	2.1
55～59歳	348	0.6	0.0	1.1	74.1	2.0
60歳以上	1,171	0.8	0.0	0.6	77.0	1.4

保有金融商品の合計額（問3）との関係を見ると、「土地」は1,000万円以上で2割に達し、3,000万円以上では30.5%となる。また、3,000万円以上では、「ゴルフ会員権」、「金（ゴールド）」の保有率が高くなる点が目立つ。

図表 10-8 預貯金や証券投資以外の投資状況（複数回答）（F13） / 保有金融商品の合計額別（問3）

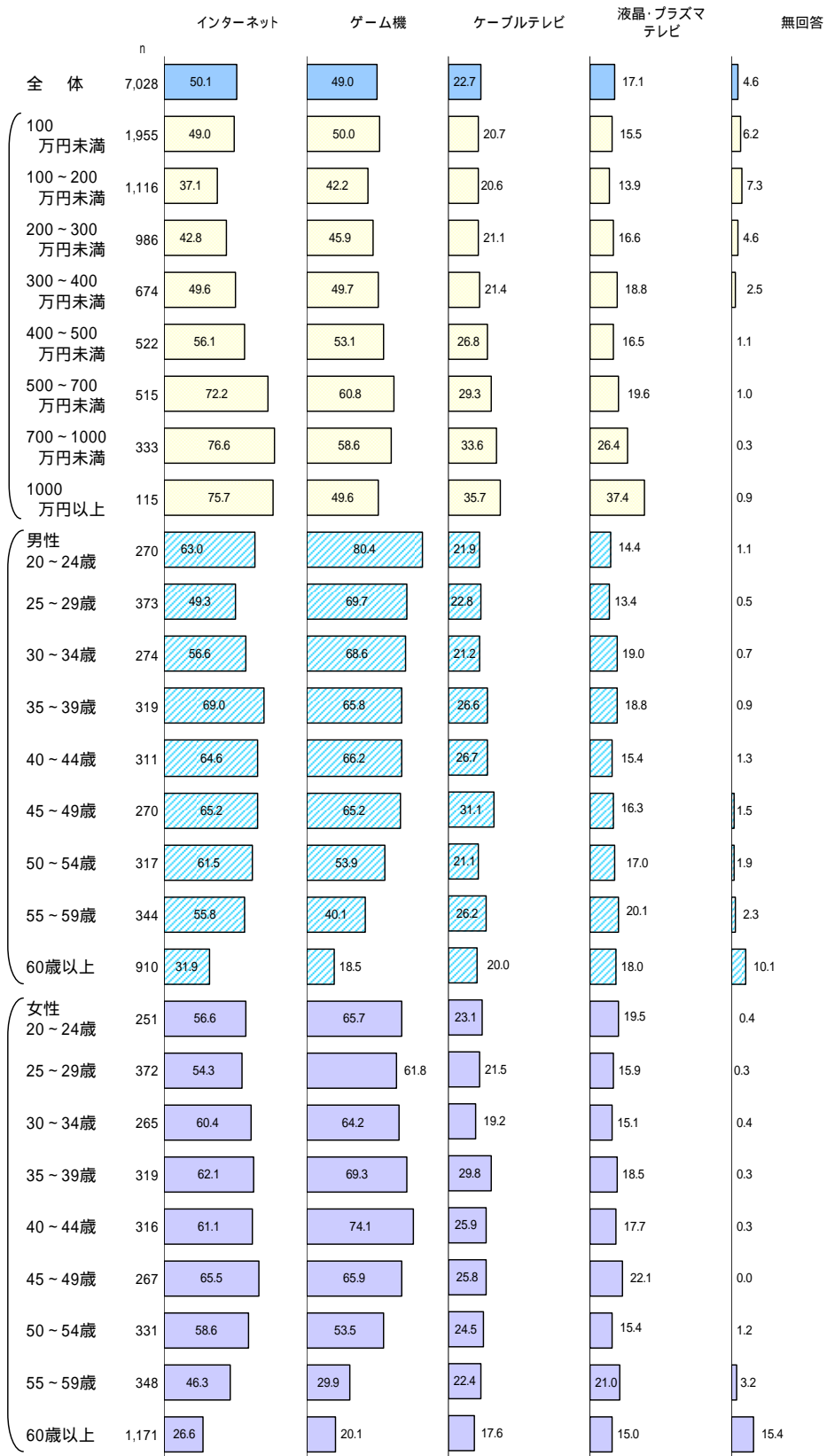


(4) 商品・サービスの保有・加入状況(複数回答)(F14)

商品・サービスの保有・加入状況についてみると、「携帯電話・PHS」が88.2%で最も高く、以下、「ビデオ(VTR)(80.4%)」、「パソコン(64.2%)」、「ファクシミリ(FAX)(53.6%)」、「DVD(53.0%)」、「インターネット」が50.1%などと続く。

図表 10-9 商品・サービスの保有・加入状況(複数回答)(F14)/年収、性・年代別

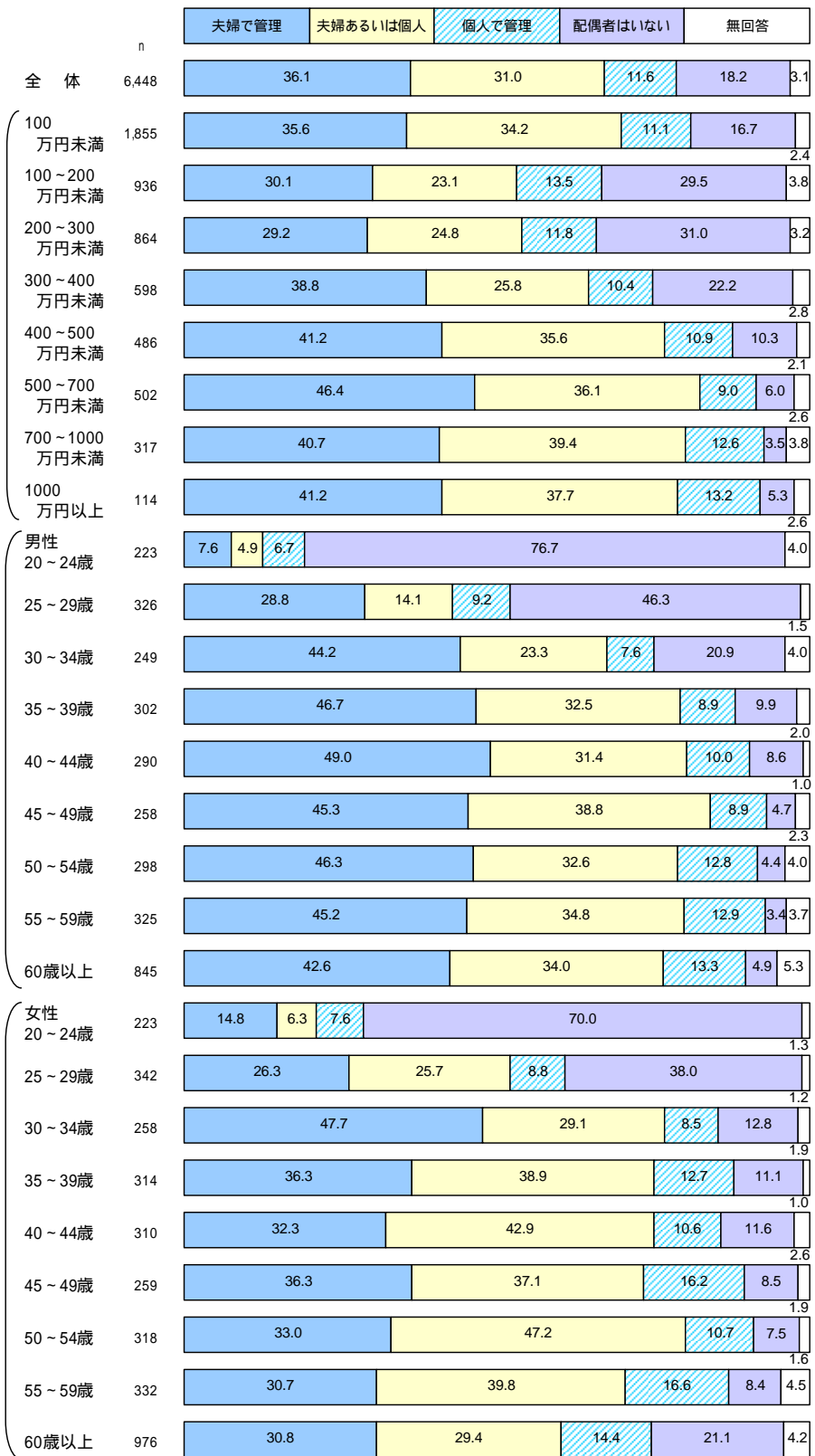
	n	携帯電話・PHS	ビデオ	パソコン	ファクシミリ	DVD
全体	7,028	88.2	80.4	64.2	53.6	53.0
100万円未満	1,955	86.5	78.0	62.4	52.1	49.9
100~200万円未満	1,116	82.8	76.3	51.7	42.8	46.4
200~300万円未満	986	85.4	76.4	57.3	45.9	50.8
300~400万円未満	674	90.4	81.8	66.0	52.8	55.3
400~500万円未満	522	94.8	87.0	71.1	61.1	59.4
500~700万円未満	515	96.5	89.7	84.7	68.3	69.5
700~1000万円未満	333	95.5	91.0	88.9	77.5	66.1
1000万円以上	115	96.5	92.2	87.8	79.1	63.5
男性						
20~24歳	270	96.7	81.9	71.9	47.8	67.0
25~29歳	373	97.3	82.3	65.1	44.0	64.6
30~34歳	274	97.1	86.5	72.3	56.9	70.8
35~39歳	319	96.2	88.7	76.8	62.7	69.9
40~44歳	311	95.5	87.1	78.1	61.7	69.8
45~49歳	270	97.0	87.8	79.6	68.1	65.6
50~54歳	317	93.4	85.5	75.4	64.0	58.7
55~59歳	344	93.3	83.1	70.3	57.3	49.7
60歳以上	910	72.7	71.8	48.0	48.0	30.7
女性						
20~24歳	251	99.6	85.3	63.7	49.0	64.5
25~29歳	372	98.4	81.7	72.8	50.3	69.1
30~34歳	265	98.5	86.0	74.3	52.5	69.8
35~39歳	319	97.2	89.3	78.4	66.8	71.8
40~44歳	316	98.1	87.7	73.4	64.2	63.0
45~49歳	267	96.3	90.3	81.3	67.0	67.8
50~54歳	331	97.3	87.9	71.3	60.4	60.4
55~59歳	348	88.2	79.3	62.9	52.9	44.0
60歳以上	1,171	66.5	65.5	40.6	40.5	25.0



(5) 家庭(世帯)での資産管理方法(問1)

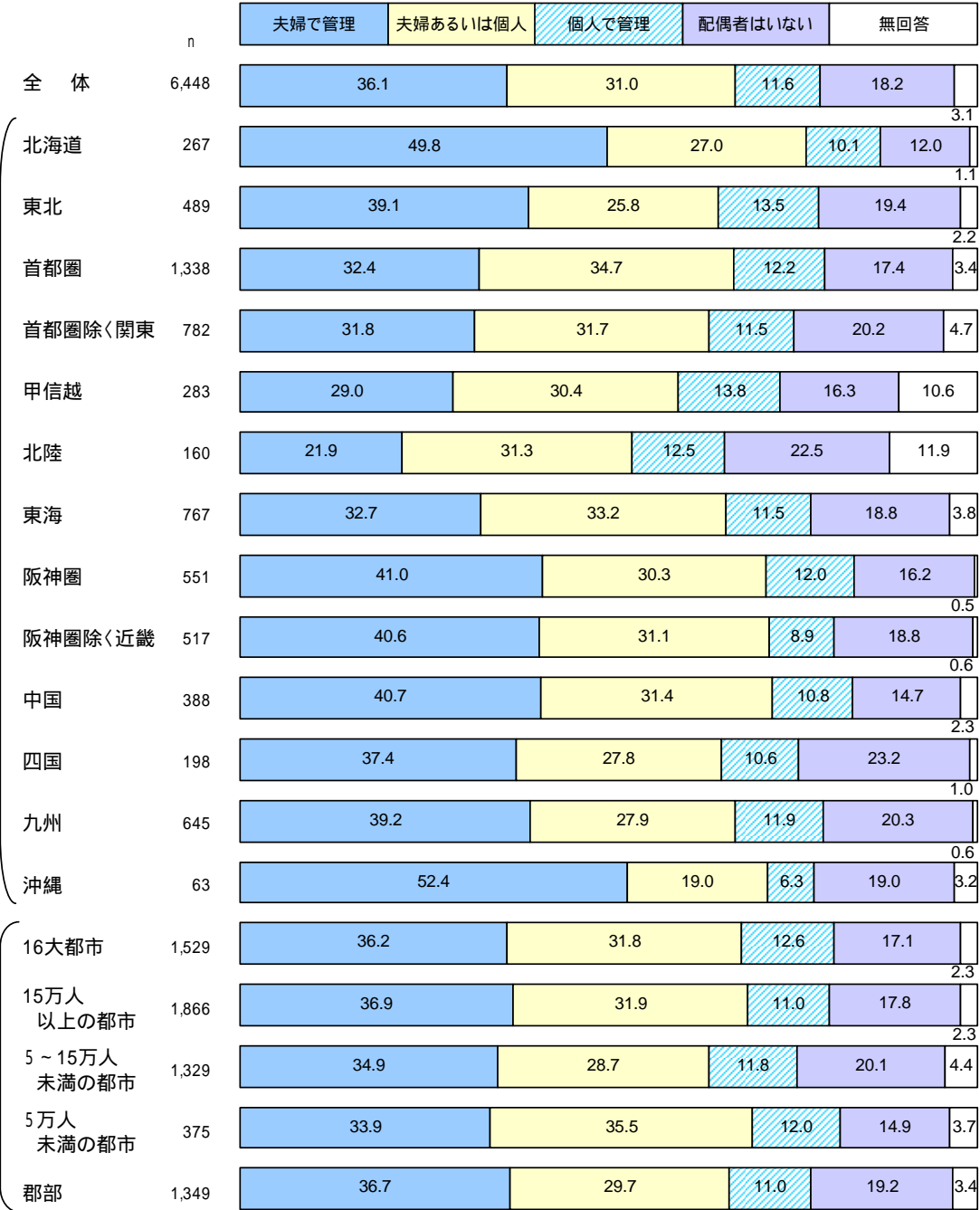
単身世帯を除いた家族人数が2人以上での家庭(世帯)での資産の管理方法については、「すべて夫婦で管理している」が36.1%と最も高く、次いで「夫婦で管理しているものもあれば、個人で管理しているものもある」が31.0%である。一方、「すべて個人で管理している」は11.6%に留まり、どちらかと言えば夫婦で管理している割合が高い。また、「配偶者はいない」は18.2%である。

図表 10-10 家庭(世帯)での資産管理方法(問1) / 年収、性・年代別



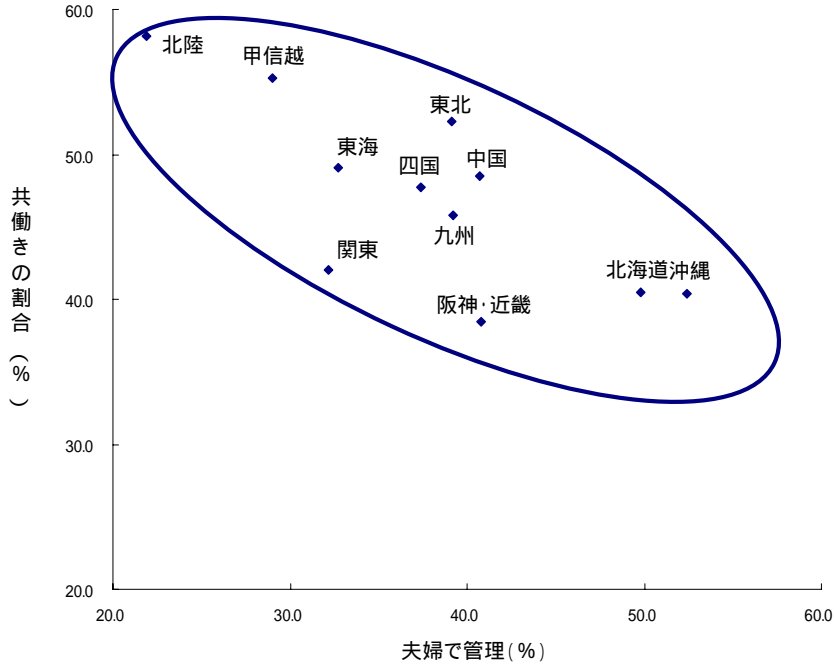
地域別でみると、「すべて夫婦で管理している」は、北海道、東北、阪神圏、阪神圏除く近畿、中国、沖縄で高く、首都圏、首都圏除く関東、甲信越、北陸、東海では低くなっている。

図表 10-11 家庭（世帯）での資産管理方法（問1） / 地域・都市規模別



各地域の共働き率との関係を見ると、共働きの割合が高い地域は夫婦で管理する割合が低い傾向がみられる。
 資産管理方法別に証券の保有状況を見ると、配偶者がいない世帯の証券保有率(12.9%)に比べて、それ以外の世帯の証券保有率が高くなっている点特徴的である。

図表 10-12 家庭（世帯）での資産管理方法（問1） / 共働き率別



注) 「共働きの割合」は、総務省統計局「平成12年度国勢調査」の世帯数、夫・妻とも就業世帯より作成。
 「夫婦で管理」における「関東」の割合(%)は、本報告書で用いている地域別における「首都圏」と「首都圏除く関東」のサンプルを合わせたサンプル数で算出し、「阪神・近畿」の割合(%)は、「阪神圏」と「阪神圏除く近畿」のサンプルを合わせたサンプル数で算出した。

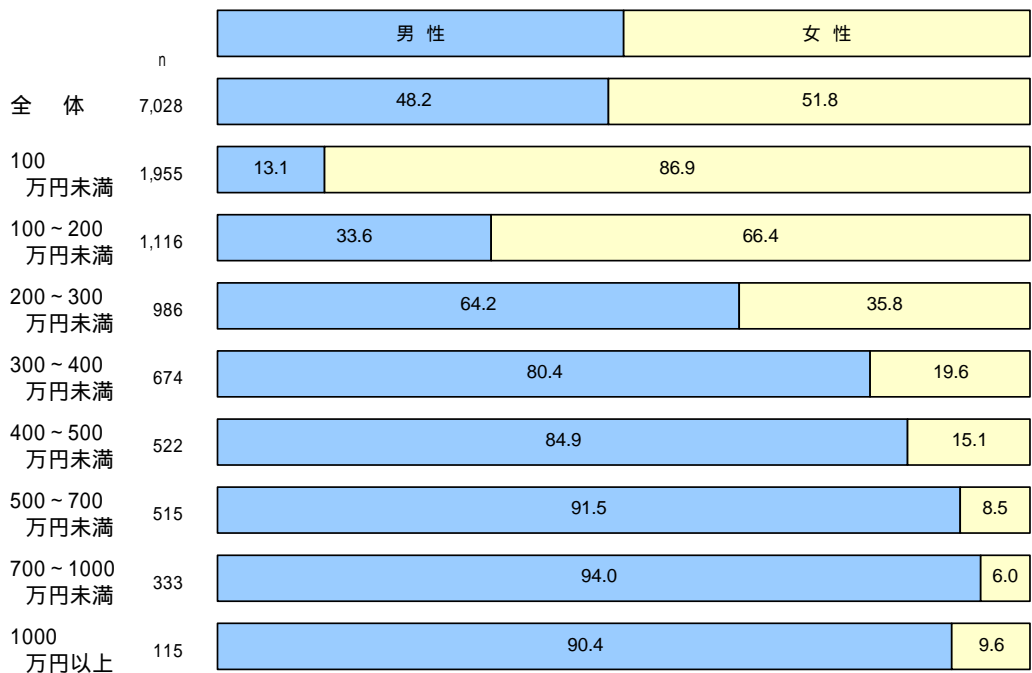
図表 10-13 証券の保有状況（問2） / 家庭（世帯）での資産管理方法別（問1）

		証券保有	証券非保有	無回答
全体	6,448	19.1	80.7	0.1
夫婦で管理	2,328	14.1	85.9	0.0
夫婦 あるいは個人	1,998	27.3	72.5	0.2
個人で管理	749	22.7	77.2	0.1
配偶者がいない	1,176	12.9	87.0	0.1

(6) 性別 (F 1)

男性に比べて女性は年収が低い。

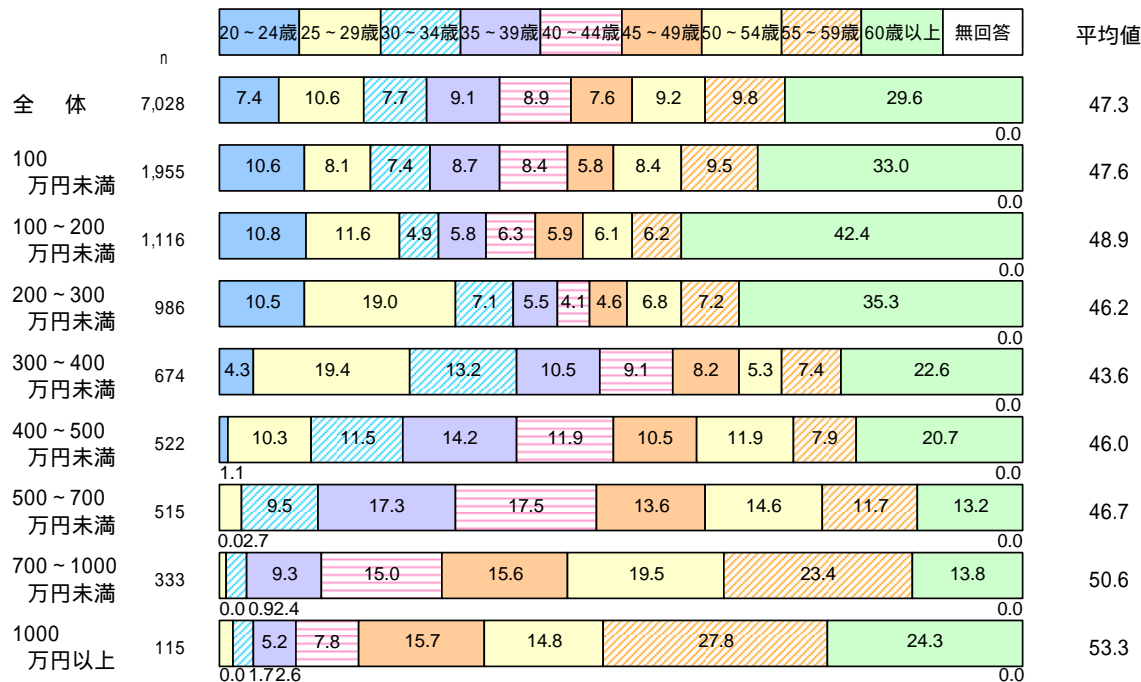
図表 10-14 性別 (F 1) / 年収別



(7) 年代 (F 2)

20代は「200～300万円未満」以下の割合が他の年代に比べて高いのが目立つ。また、「60歳以上」は年収が低い層での割合が高いのが目立つ。

図表 10-15 年代 (F 2) / 年収別



(8) 職業 (F 3)

「1,000万円以上」では、「卸・小売・サービス業主(25.2%)」、「管理職(33.0%)」が高いが目立つ。また、男性において「卸・小売・サービス業主」と「管理職」は、(55～59歳までは)年代が上がるほど高くなる傾向がみられる。女性は年代に関わりなく「専業主婦」と「パート・アルバイト・フリーター」の割合が高い傾向がみられ、特に30代以上では(女性60歳以上を除いて)およそ7割を占める。

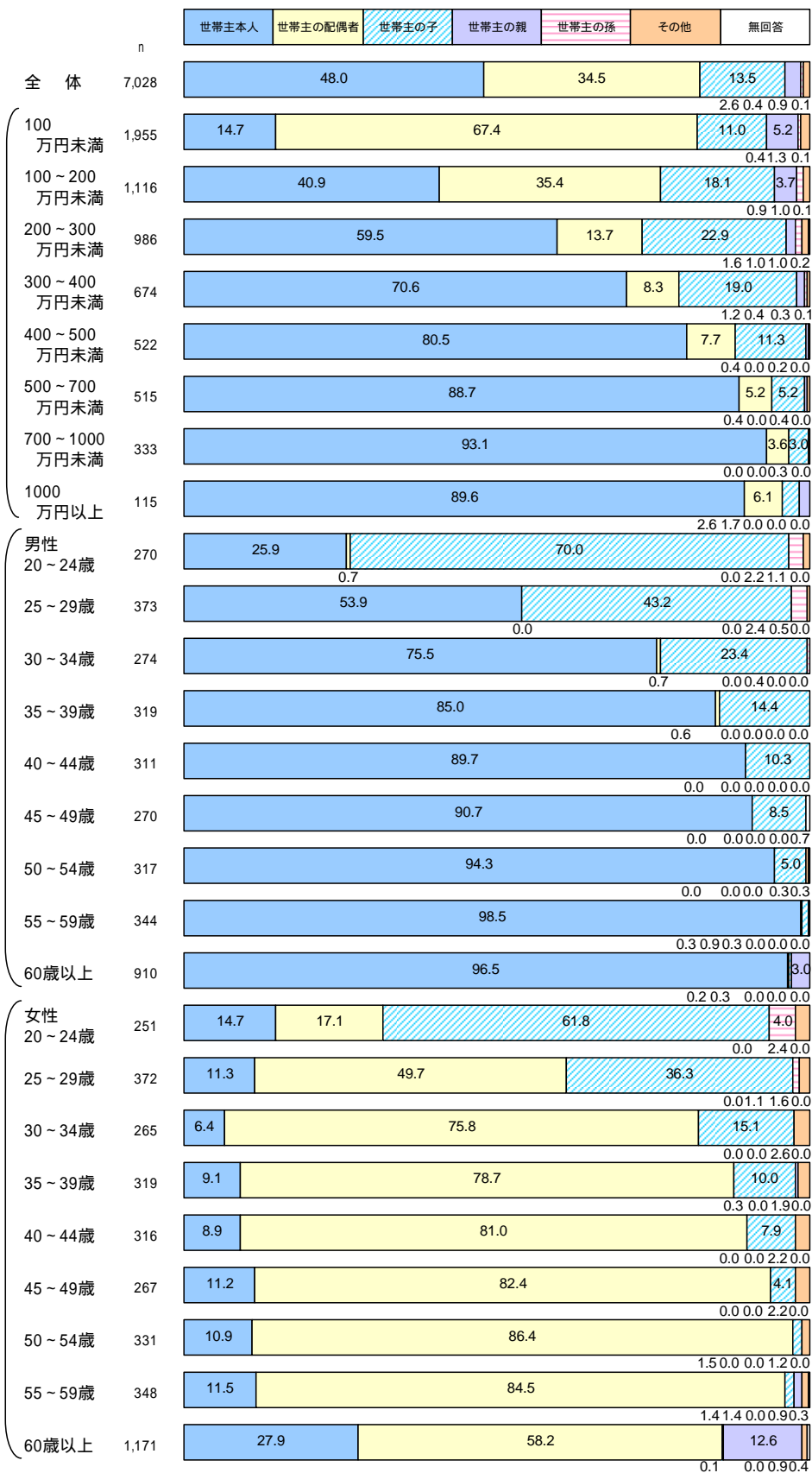
図表 10-16 職業 (F 3) / 年収、性・年代別

	全 体	卸・小売・サービス業主	製造・修理・加工業主	自由業	管理職	事務系勤め人	技術系勤め人	労務系勤め人	農林・漁業	学生	専業主婦	パート・アルバイト・フリーター	無職・年金のみ	その他	無回答
全 体	7028	12.1	3.9	1.2	3.0	7.8	9.2	7.0	1.6	2.0	15.0	15.7	18.1	3.3	0.1
100万円未満	1955	3.8	0.4	0.3	0.1	0.9	0.6	0.6	1.8	5.3	28.7	33.9	21.1	2.5	0.1
100～200万円未満	1116	11.6	3.0	0.7	0.3	6.0	4.5	5.8	1.8	0.4	6.6	27.2	28.2	3.9	0.0
200～300万円未満	986	15.7	4.7	1.8	0.5	12.2	12.5	11.8	1.8	0.1	2.0	7.7	25.4	3.7	0.2
300～400万円未満	674	17.5	7.4	1.6	1.9	12.2	21.7	15.7	1.5	0.0	1.5	2.1	12.6	4.2	0.1
400～500万円未満	522	21.6	10.9	1.5	3.8	12.3	19.2	14.8	1.5	0.0	0.4	1.7	7.5	4.6	0.2
500～700万円未満	515	18.4	6.0	1.9	8.9	18.3	23.5	11.5	1.6	0.0	1.2	0.8	4.5	3.3	0.2
700～1000万円未満	333	19.5	7.5	1.8	18.9	20.1	15.9	6.9	1.5	0.0	0.3	0.0	1.8	5.7	0.0
1000万円以上	115	25.2	11.3	6.1	33.0	8.7	5.2	0.9	2.6	0.0	0.0	0.0	2.6	4.3	0.0
男性20～24歳	270	7.8	8.9	0.0	0.4	1.9	16.3	14.8	0.4	30.7	0.0	14.4	0.4	3.7	0.4
男性25～29歳	373	13.4	7.5	0.5	0.8	9.4	33.2	20.1	1.9	1.9	0.0	8.0	0.5	2.4	0.3
男性30～34歳	274	16.8	6.9	1.1	1.5	12.4	34.3	16.1	1.1	0.4	0.0	3.6	1.1	4.4	0.4
男性35～39歳	319	19.7	12.2	1.9	4.1	14.7	26.0	16.0	0.9	0.0	0.0	1.3	0.6	2.5	0.0
男性40～44歳	311	19.9	7.7	2.6	10.3	18.6	18.6	16.1	1.0	0.0	0.0	1.9	0.6	2.3	0.3
男性45～49歳	270	22.6	9.3	1.9	12.6	12.2	18.5	17.0	1.1	0.0	0.0	1.1	1.1	2.6	0.0
男性50～54歳	317	24.3	8.2	2.8	13.2	12.3	14.5	13.6	1.3	0.0	0.0	2.8	2.5	3.5	0.9
男性55～59歳	344	24.1	7.3	4.7	14.0	7.8	11.9	11.6	3.2	0.0	0.0	2.6	7.8	4.9	0.0
男性60歳以上	910	14.1	4.0	1.9	2.6	1.4	2.7	3.4	4.4	0.0	0.0	4.3	56.9	4.1	0.2
女性20～24歳	251	6.8	0.4	0.0	0.0	15.5	6.0	3.6	0.0	17.1	10.4	30.3	8.8	1.2	0.0
女性25～29歳	372	5.6	1.1	0.5	0.3	15.3	7.0	4.3	0.3	0.8	22.8	30.6	7.5	3.8	0.0
女性30～34歳	265	4.9	0.8	0.8	0.0	10.2	3.0	3.0	0.0	0.4	40.4	29.4	4.2	3.0	0.0
女性35～39歳	319	4.4	0.3	0.3	0.3	10.3	3.4	1.3	0.6	0.0	37.3	35.7	4.4	1.6	0.0
女性40～44歳	316	6.6	0.6	0.6	0.6	7.3	2.2	2.8	0.3	0.0	28.5	43.4	2.2	4.7	0.0
女性45～49歳	267	9.4	1.9	0.7	1.1	9.7	1.9	3.0	0.0	0.0	27.3	37.8	2.6	4.5	0.0
女性50～54歳	331	9.4	0.9	0.3	0.0	8.5	3.0	2.4	0.3	0.0	32.9	35.0	4.5	2.7	0.0
女性55～59歳	348	14.9	1.7	0.0	0.3	5.7	0.0	2.0	1.1	0.0	31.0	31.9	6.0	5.2	0.0
女性60歳以上	1171	5.5	0.3	0.4	0.2	0.6	0.3	0.3	2.2	0.0	28.9	9.2	49.9	2.3	0.0

(9) 世帯主との続柄 (F 7)

回答者の続柄は、男性は「世帯主本人」、女性は「世帯主の配偶者」が高い。

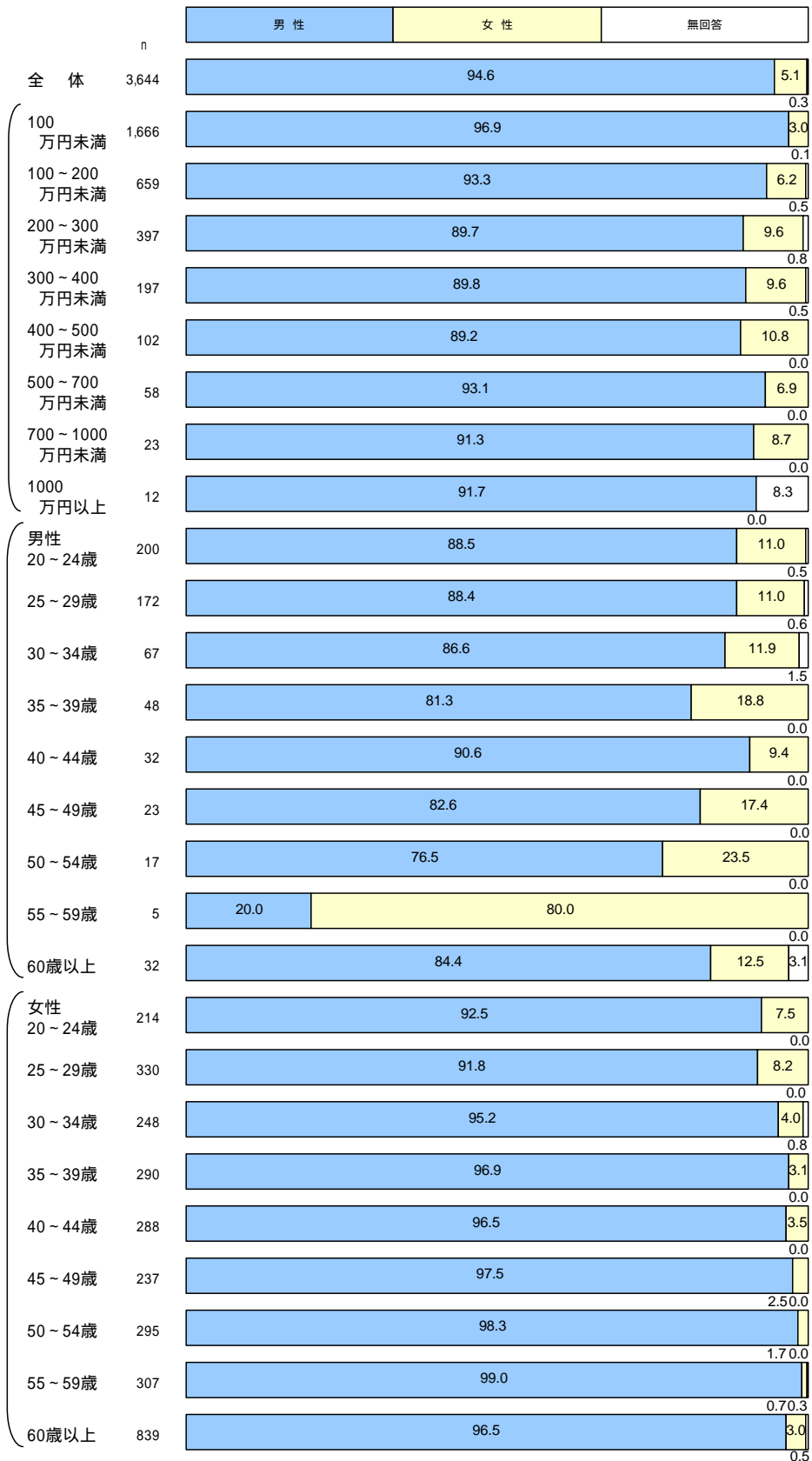
図表 10-17 世帯主との続柄 (F 7) / 年収、性・年代別



(10) 世帯主の性別 (F 8)

サンプル数が少ない層もあるが、どの性・年代でも、世帯主は「男性」が大部分を占めている。

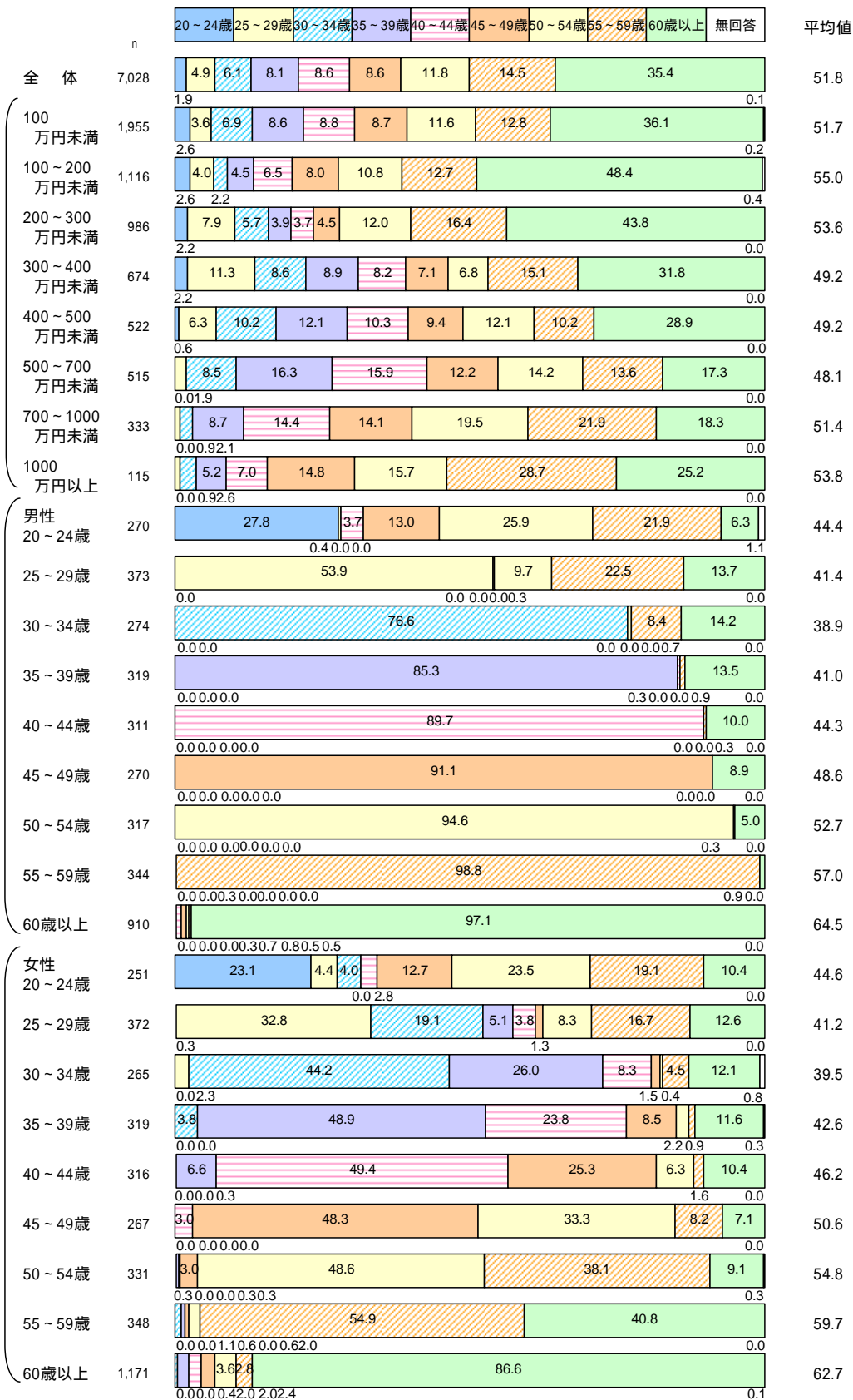
図表 10-18 世帯主の性別 (F 8) / 年収、性・年代別



(11) 世帯主の年代 (F 9)

平均値で見ると、男女とも年代が上がるほど世帯主の年齢が上がる傾向があるが、男性においては回答者の多くが「世帯主本人」、女性においては「世帯主の配偶者」によるものと考えられる。

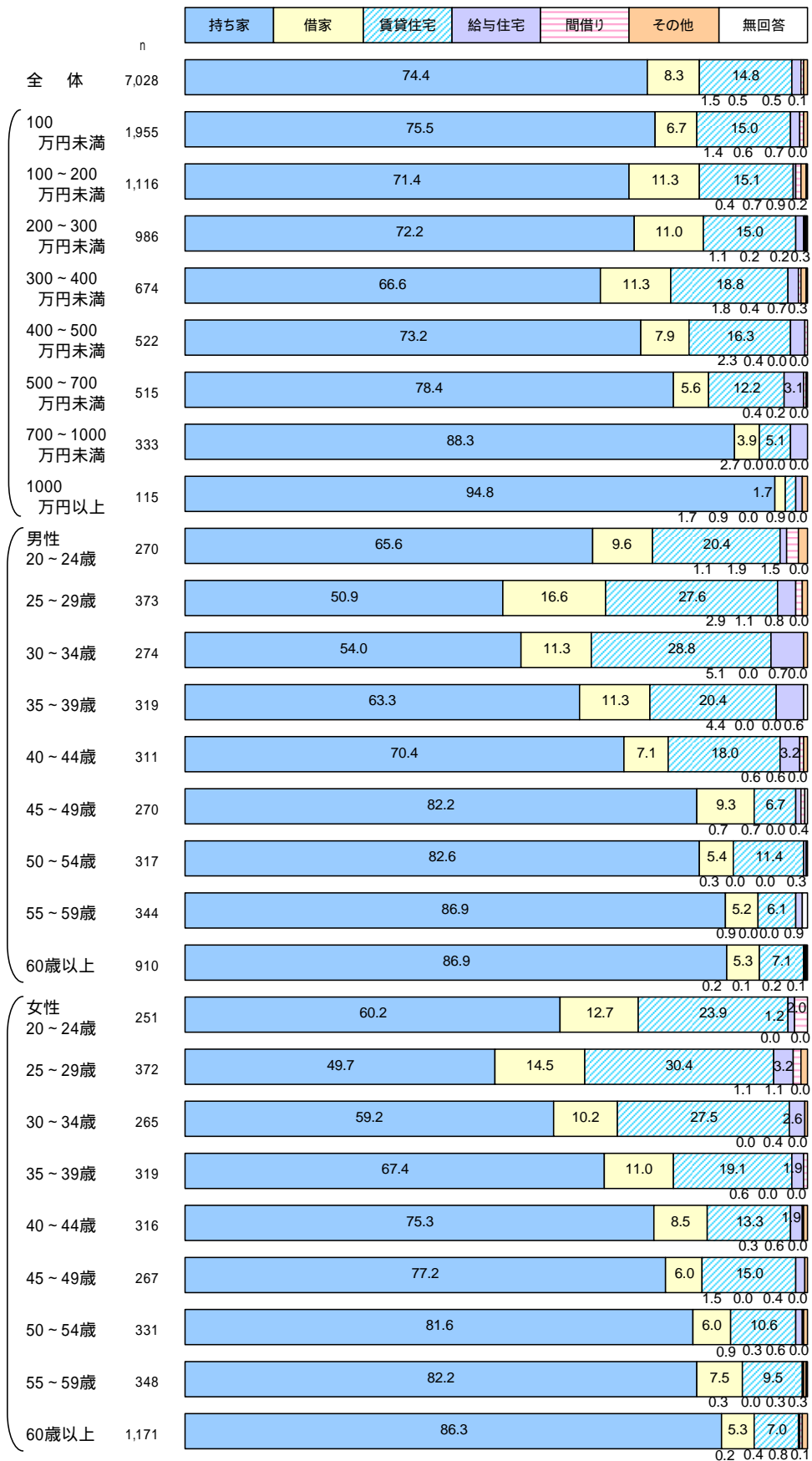
図表 10-19 世帯主の年代 (F 9) / 年収、性・年代別



(12) 住居 (F 10)

年収が多いほど、また、男女とも年代が上がるほど「持ち家」が高い。

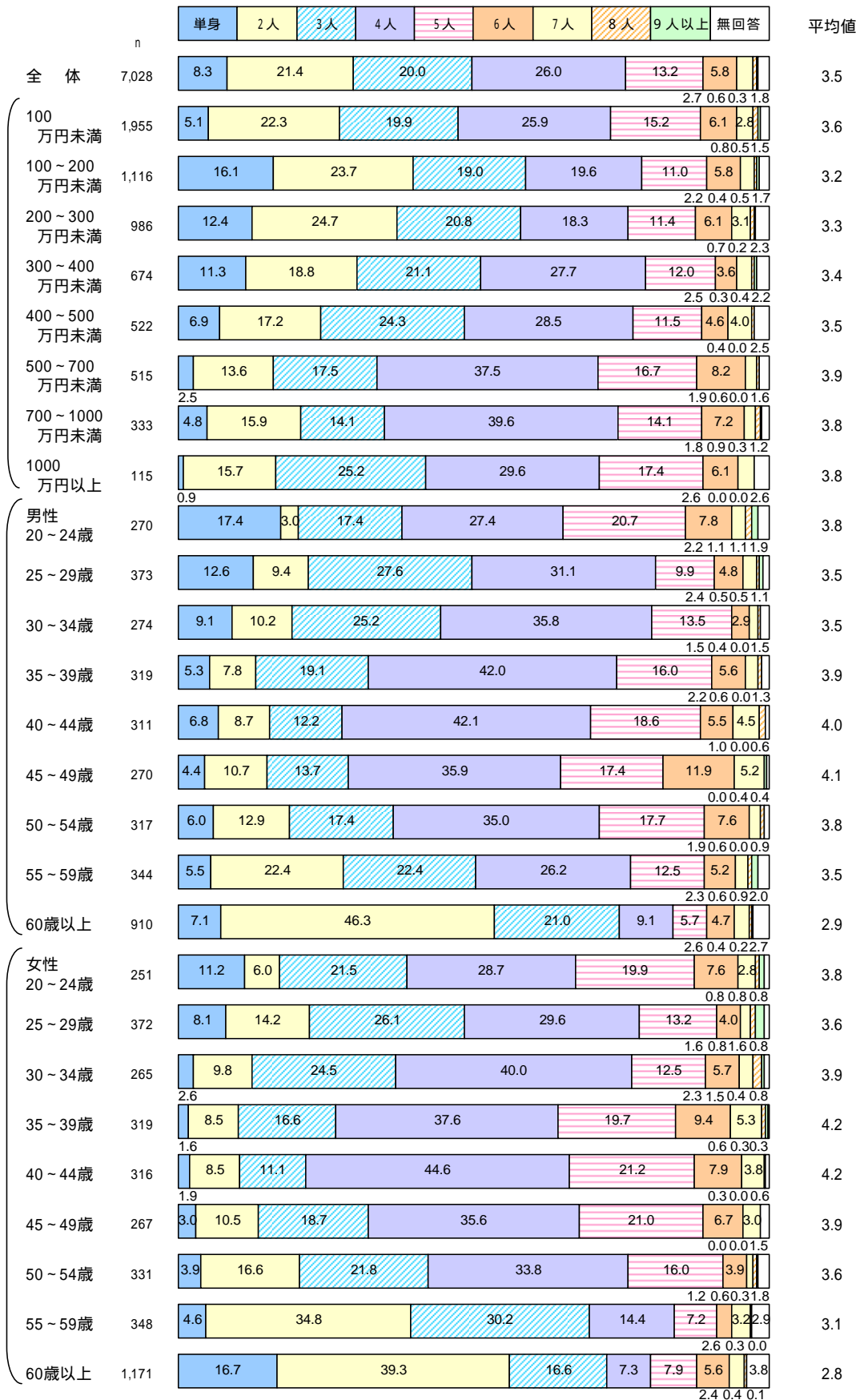
図表 10-20 住居 (F 10) / 年収、性・年代別



(13) 世帯人数 (F11)

「単身」世帯は8.3%、「2人」~「4人」世帯が2割台などとなっている。

図表 10-21 世帯人数 (F11) / 年収、性・年代別



(14) 世帯税込み年収 (F 12)

世帯年収は「500～700万円未満 (16.9%) 」が最も高い。また、その前後の「400～500万円未満 (12.9%) 」と「700～1,000万円未満 (15.6%) 」が次いで高い。

図表 10-22 世帯税込み年収 (F 12) / 年収、性・年代別

